特定非営利活動法人　ＮＰＯもがみ
平成29年度　活動報告

自：平成29年4月1日
至：平成30年3月31日

Ⅰ　平成29年度の総括

最上には、法人の志を高く掲げ力強く事業の展開を図り、スタッフ数が40名を超え事業費も億円を計上する組織も散見しており、内外共にＮＰＯに対する期待が増しています。その分社会的責任も重くなっているといえますし、ＮＰＯ法人自身が情報公開を積極的にすすめ、社会からの信頼を得る努力を怠ることなく自らに課すことが大切となります。

しかし、設立以来総会を開催したことがない、会議の議事録をまったく作成していない等、基本的な運営管理に問題を抱える組織もみられました。先駆的で創造的な取り組みがメディアで大きく何度も取り上げられる組織なればこそ、誠実に真摯に対応しなければならないと考えます。何人かの代表理事や理事長に正すよう進言したこともありました。

運営管理の問題はＮＰＯセクター全体への信頼の獲得を左右する重要な要素であり、中間支援組織としての当法人にとってＮＰＯの活動基盤整備を一層推進していく必要を自覚させられる１年でした。

最上地域に住み続け暮らしを維持することの課題、地域コミュニティのあり方を次世代の育成の視点から地域未来フォーラム事業を通じて提起しました。事業報告にありますように参加者に大きな感動を与え、足下を見つめ直す機会となったようです。この事業実施にあたり、たくさんの団体から協力を得ることができました。当法人がこれまでに培ってきた連携協働の有り様が評価された事業となりました。

魅力ある最上の仕事発信事業では、「もがみ仕事の魅力ガイドⅡ」として新たに30事業所を紹介し、高校生や学校現場を対象に分かりやすく役に立つ冊子として発刊しました。県内外からの反響も大きく寄せられています。今後は小中学生を対象に低年齢層に発信していく必要があると考えています。また、最上地域全体（経済関係・教育関係・学識経験者・行政機関）による地元定着・人材確保に関する検討会議がもたれ、「オールもがみ若者定着・人材確保推進会議」として新たな組織が発足し、当法人はそのメンバーとなりました。

長寿社会や健康寿命・人生100歳などの言葉を聞く機会が多くなっています。

過去に取り組んできた「大人の医療受診適正啓発促進事業・医療介護連携指導人材育成事業」の延長上に位置づけた「健康づくりステーション創設支援事業」は、幅広い年齢層の健康意識の底上げにつながりました。地域医療を考察する事業となり、今後も多様な視点から継続的に取り組んでいきたいと考えます。

策定中の新庄市エコロジーガーデン第4期利用計画（案）のパブリックコメントについて意見を提出しました。市の考えが公表されています。

引き続き、会員の方々の持つ専門性や関心事を事業の中で活かすことができる環境づくり等を行っていきたいと考えます。

Ⅱ　運営に関する事項

１　通常総会の開催に関する事項

◆第15回通常総会（平成29年度）

日時：平成29年5月23日（火）午後7時30分～8時30分

会場：わくわく新庄　2階　会議室

議案：第1号議案　平成28年度活動報告　財産目録　貸借対照表
活動計算書　財務諸表の注記
及び監査報告　承認

第2号議案　役員選任　承認

第3号議案　平成29年度活動計画　承認

第4号議案　平成29年度活動予算　承認

２　会議の開催に関する事項

１）理事会の開催

第1回理事会　　日時：平成29年5月23日（火）午後6時30分～7時20分
会場：わくわく新庄　2階　会議室
議案：第15回総会付議事項の審議と承認

２）事業委員会の開催　事業委員会：11/27（月）　12/8（金）　3/28（水）

３　事務局管理に関する事項

１）事務室使用

新庄市エコロジーガーデンの一室を行政財産目的外使用許可を得て使用

２）事務局体制（１）業務時間　平日　午前9時～午後4時
（但し　毎週火曜日はエコロジーガーデンの休館日に伴う休業日）
（２）理事長の駐在　平日の業務日
（３）事務局　統括業務・よろず相談担当：沼野
情報発信・ＨＰ担当：工藤
会計総務担当：押切

３）会員管理　正会員　13名　（個人13名）

Ⅲ　活動に関する事項

１　自主事業

１）地域社会と私のためのよろず相談事業

実施方法	本法人事務室での面談及び電話による
事業期間	通年
主な相談内容	（１）ＮＰＯ法人の設立と運営（総会・会計等）相談
	（２）事業企画と実施に関する相談
	（３）町内会運営や地域コミュニティに関する相談
	（４）行政職員からの相談

	（５）地域おこし協力隊に関する相談
	（６）情報交換　　等

２）交流連携事業

（１）新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会に参画	
目　　的	新庄市エコロジーガーデンの施設の永続的な保存と有効的な利活用を推進し、多くの人が集い市民に開かれた施設としていくため、定期的にイベントを開催し、交流の拡大を図る。
構成団体	しんじょう産地直売所運営協議会、新庄亀綾織伝承協会、新庄ひつじネットワーク、花の風の会、遊び工房プロジェクト、花まるプロジェクト、キトキトマルシェ、（特）ＮＰＯもがみ・新庄市商工観光課（事務局）
各種イベント	①キトキトマルシェ（5/21~11/19全7回）開催日毎にテーマを決めて実施
	集客数：11，440人　　出店数：262件
	売上額：9，488，000円
	②シルクロードネットワーク福島フォーラム（7/8）
	③グラウンドワークセミナー（7/29）
	④キトキト環境芸術祭（9/4~9/17）
	⑤ゲストハウス・ミノムシオープン（2/1）　　等
（２）やまがた避難者支援協働ネットワークに参加（H25~）	
目　　的	東日本大震災により県内に避難されている方々への中長期的な支援に関し、多様な主体による情報の共有、交換を図り、相互に連携・協働しながら避難ニーズにきめ細やかに対応した支援を推進する。
事務局	山形県危機管理課復興・避難者支援室
内　　容	①実行委員会に参加
	②避難者相談・交流会の実施
	③避難者と地域とのつながりを考える意見交換会
	④東日本大震災追悼・復興祈念事業キャンドルナイト追悼・復興への祈り：3/11（日）文翔館16：00~20：00参加者約600名（セレモニー220名）
（３）最北地区ボランティアの輪連絡会議に参加	
目　　的	最北地区におけるボランティア及びボランティアグループの交流、情報交換等の普及啓発活動を行い、ボランティア活動の活性化及びボランティア相互の連携強化を図る。
事務局	村山市、尾花沢市、東根市、新庄市の各社会福祉協議会が1年交替
構成団体 24団体	最北地区社協１２　あおぞら　ゆりかご会　向町婦人ボランティア観光案内人（ボランティアガイド）大石田町福祉ボランティアの会 協働による社会貢献支援活動推進協会　村山市ボランティア連絡会 西堀福祉会　結　快生　ＮＰＯもがみ
研修会	明日からのボランティア活動に活かす～心も身体も元気に～ 開催日：3月7日（水）　場所：山形県身体障がい者保養所 講師：塩野貴美氏

（４）最上地域女性応援会議研修（モガミ　ウィメンズ　サミット）に参加			
開催日	1月13日(土)	会　場	ニューグランドホテル新庄
内　容	第1部　基調講演　「一人ひとりを輝かせる組織づくり」 講師　関根　近子氏 第2部　女性活動者によるパネルディスカッション 最上のくらし舎、新庄ベンチャークラブ、戸沢村女性消防隊 地域づくり応援団キラッとＯ～ＲＡ☆ＤＡ 和太鼓サークル響華、最上地域女性応援会議 第3部　情報交換会		

（５）山形県ＮＰＯ活動促進大会に参加及び第4部ＮＰＯ交流会に協力			
開催日	11月28日（火）16：00	会　場	山形市ホテルメトロポリタン
目　的	県内のＮＰＯやＮＰＯ中間支援組織との連携強化及び社会貢献として寄付を行っている企業とＮＰＯの連携を構築する。		
内　容	山形県ＮＰＯ中間支援組織連絡会のメンバーとして、第4部ＮＰＯ交流会「ＮＰＯと企業の連携について」のテーマで1テーブルのコーディネーターを務めた。		
成　果	初めての試みとしてＮＰＯ・企業・高校・行政がテーブルに着き忌憚のない意見交換がなされ、参加企業や高校からの評価が高く、セクターを越えて対話する事業を継続的に実施してほしい旨の要望があった。		

（６）やまがたＮＰＯウィーク２０１８に協力	
開催日	2月20日(火)～2月25日(日)
目　的	ＮＰＯ活動に一般市民が関心を持つ機会を提供し、活動団地あの発表や交流の機会を提供する。
会　場	山形市市民活動センター

３）地域課題に対応する事業

（１）やまがた健康づくりステーション創設支援事業「地域密着型」			
期　間	平成29年9月19日～2月28日		
目　的	「誰でも、気軽に、楽しく、みんなで健康づくり」をコンセプトに、日常生活において、自主的主体的に健康づくりに取り組むことができる拠点を整備し、幅広い年齢層の健康意識の底上げと健康づくりの裾野の拡大を図る。「地域密着型」は、歩いて通える身近な公民館等を拠点と位置づけ住民主体の運営により定期的に身体を動かす仕組みを構築する。		
内　容	「みんなで達者に冬を乗り切ろう！」講座5回開催		
会　場	新庄市千門町公民館	開催時間	13：30~15：30
共　催	新庄市	協　力	新庄市社会福祉協議会

実施日	内　　容	講　師	人　数
第1回 10月31日 （火）	○ロコモ予防講座 ○ロコモ体操　脳力アップ体操 ○健康相談（質問に対応）	（特）アピラ 最上エリア健康推進 マネージャー　辻氏	15人

第2回 11月14日 （火）	○歯周病予防や口腔ケア講座 ○いきいき百歳体操 ○健康相談（質問に対応）	最上歯科衛生士会 歯科衛生士　髙橋氏	12人
第3回 12月12日 （火）	○食事と健康講座 ○いきいき百歳体操 ○健康相談（質問に対応）	新庄市健康課 栄養専門員　鈴木氏	9人
第4回 1月9日 （火）	○低栄養予防講座 ○いきいき百歳体操 ○健康相談（質問に対応）	（社福）かつろく会 管理栄養士2人 栄養士1人	13人
第5回 ２月１３日 （火）	○伝統野菜と減塩料理の実食体験 ○交流会 ○いきいき百歳体操	新庄市元調理師 笹原氏	15人
成　果	参加者同士が顔見知りとなり親しい関係を築くことができた。 定期的に公民館で百歳体操が開かれることとなった。		
アンケートより抜粋	毎回楽しみだった。誘い合って参加できた。 口腔ケアの大事さがわかった。　けっこう塩分をとっていた。 歳をとっても栄養が必要とわかった。 残り物だけ食べていてはダメだとわかった。 健康相談ができてよかった。・隣近所で顔見知りになれた。 ＤＶＤを見て百歳体操が出来るようになった。 参加している92歳の人がお手本になった。		

（２）地域づくり支援事業　　地域づくり支援プラットフォーム

目　的	住民主体の地域づくりの推進について、県内4ブロックにおいて、総合支庁・中間支援団体・市町村の連携の下、地域づくりにおける先進的取り組みの導入・波及を図り、地域の人々が将来にわたり、安心して暮らし続けることができる地域の実現を目指す。最上地域では、中間支援団体として（特）ＮＰＯもがみが参画位置づけとなっている。
内　容	山形県地域運営組織形成モデル事業に参画 ①地域運営組織に係る相談窓口 ②地域運営組織形成モデル地区への支援 　最上地区は、金山町中田地区が対象 　　4/14（金）5/1（月）7/4（火）7/7（金）9/1（金）10/11（水） 　　11/17（金）1/19（金） ③ 地域づくりプラットフォーム構築に関する会議 　　8/28（月）山形市ファーラ　山形県サテライト相談窓口の設置 ④最上地域づくり支援プラットフォーム調整会議 　　12/19（火）13：30~15：00　わくわく新庄　２階会議室 ⑤地域運営組織形成モデル地区成果報告会 　　1/19(金)　13：30~18：00　寒河江市田代地区多目的交流館 　　県内６つのモデル地区で取り組んだ地域を運営する組織の形成と地区

	計画策定に向けた住民ワークショップの成果報告会に出席 成果報告・パネルディスカッション・ワークショップ ・情報交換交流会 対象地区　西川町大井沢地区　金山町中田地区　庄内町立谷沢地区 酒田市田沢地区　酒田市大沢地区　寒河江市田代地区

2　受託事業

1）魅力ある最上の仕事発信事業　　（最上総合支庁産業経済部地域産業経済課）

期　間	平成29年7月12日～平成30年3月30日	
目　的	平成28年3月に発行した「もがみ仕事の魅力ガイド」に続く第２作との位置づけから、地元で働くイメージの醸成と意欲喚起を図り、若者等の地元就職や回帰の促進に繋がるよう読みやすく分かりやすい内容となる冊子を作成する。最上で働く経営者や若者の想いなど、多様な最上地域における仕事の魅力を高校生等に伝えるための冊子とする。	
内　容	取材承諾企業との日時設定等の打ち合わせ後、取材を行い、最上地域の企業30社と従業員の掲載「もがみ仕事 の魅力ガイドⅡ」70ページ600冊を発行した。 冊子の読み手対象を高校生としたため、従業員側については、目で見て仕事内容がつかめるような写真による仕事風景等を盛り込むとともに「ガイドⅠ」に比して若い従業員の「１日のおもなスケジュール」「先輩から一言」「おしごとポイント」など、より身近に興味を感じるよう工夫した。 取材承諾が得られにくかった企業について、最上総合支庁担当者からガイド作成委員を通して承諾への働きかけを行ってもらった。	
	ガイド作成委員会構成	新庄商工会議所、もがみ北部商工会、もがみ南部商工会 新庄市商工観光課、山形県最上総合支庁
成　果	「ガイドⅠ」で掲載できなかった事業所を追加することができた。 冊子の著作権の取り扱いについて契約書上で取り交わすことができた。	
課　題	仕事のとらえ方が企業に偏重し多様な仕事を紹介することが叶わなかった。	

2）平成29年度地域未来フォーラム　　（最上総合支庁総務課連携支援室）

テーマ	地域の未来は自分たちでつくる。次世代の育成と地域の取組み
期　間	平成30年1月30日～平成30年3月20日
目　的	地方創生が叫ばれる中、高齢化や人口減少による生活支援機能の維持が課題の現状で、住民の創意工夫をこらした住民主体の地域づくりを進めるため将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けることを目的にフォーラムを開催した。
内　容	地域未来フォーラム ～地域の未来は自分たちでつくる。次世代の育成と地域の取組み～の開催

	開催日時	平成30年3月3日（土）午後1時30分～午後4時30分		
	会　場	わくわく新庄2階研修室	参加人数	60人
	第 1 部	地域づくり実践者による基調講演会 講師　社会福祉法人陽だまり 認定こども園めごたま　園長　井上　亘　氏		
	第 2 部	地域づくり実践者等による活動実践報告 コーディネーター　地域社会デザイン研究所 代表　沼野　夏生 氏 実践報告及びパネリスト (1)新庄市泉田地区住みよい町づくり協議会 会長　海藤　靖彦 氏 (2)最上町富沢地区富澤地域地域おこし研究会 会長　高木　厚　氏 (3)（特）なかだ倶楽部　理事　栗田　里美 氏		
	第 3 部	ワークショップによる意見交換　（全体進行　沼野　夏生　氏） (1)泉田①泉田②富沢①富沢②中田の５グループ編成で意見交換 (2)第2部での活動実践報告地区への共感発表・地区からの課題提起・参加者から提案・参加者が地区にできること等についてグループ毎に意見交換を行った。		
成　果	①当法人井上理事を基調講演講師に迎え、取り組みや志そして将来展望等を語ってもらうことで参加者に多くの感動を与え高い評価を得た。最上地域で先駆的に活躍される姿を身近に認識してもらい、また新しい視点での地域づくりを提示することもできた ②最上地域の高齢化や人口減少による現状認識を図ることができた。 ③住民の創意工夫をこらした住民主体の地域づくりを実践活動の事例として紹介することで「地域の未来は自分たちでつくる。次世代の育成と地域の取組み」取組事例の普及を図ることができた。 ④アンケート結果により、本フォーラム内容が参加者の意識向上につながり、住民主体の地域づくりの実践に結びつく可能性が高いことが推測された。 ⑤将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けることや、地域の魅力を発信して新たな活気を生み出す環境づくりの拡大に繋がることが期待できる。 ⑥最上地域における活動実践者の活動紹介を行うことにより、実践者の顔が見え、継続的に住民主体の地域づくり活動に発展できることが予想された。 ⑦当日の様子が新聞記事として掲載され、広く地域づくりへの啓発に繋げることができた。 ⑧参加者アンケートにより、最上地域での実践活動者が一堂に会し活動紹介を行う機会が更に必要とされ求められていることがわかった。 ⑨第３部では、活動実践報告地区とワークショップ参加者とのご縁「繋がり」を作ることが出来、地区の新たな外部支援者となる可能性が期待できた。加えて相互の協力関係の構築にも結びつくものと考える。			

課　題	①今後、地域づくりの担い手となる中高生等への参加を促し自分の暮らす地域社会に目を向けさせていく必要がある。

Ⅳ　行政等による各種委員会、審議会等への委員委嘱協力

所　轄　・　主　催	委　員　会　名
新庄市	①振興計画審議会委員 ②行財政改革市民委員会会長 ③男女共同参画計画策定委員会委員長 ④市社会福祉協議会評議員
最上広域市町村圏事務組合	①指定管理評価委員会
山形県	①県防災会議第8号委員 ②県農村環境保全推進委員会 ③県ＮＰＯ推進委員会委員 ④郷土愛を育む活動推進事業 　　ふるさと探求コンテスト審査員 ⑤県まちづくりサポーター ⑥最上地域農林水産業若者賞審査委員 ⑦県男女共同推進員 ⑧県ＥＳＤ環境教育プログラム作成・活用委員会 ⑨男女共同参画県民企画事業審査会 ⑩県地域コミュニティ支援アドバイザー
その他	①公益信託荘内銀行ふるさと創造基金運営委員